

## 2021年度 事業報告

1. 当法人は 2020 年 12 月 15 日に設立した。法人の実質的な初年度となる 2021 年度は、下記 3 点の重点項目に取り組むこととした
  - ① 組織基盤強化のため、規定類の整備などに取り組み、組織の枠組を整える  
⇒定款および会員規程を策定した。部会規程および委員会規定に関しては今後も継続して作業をしていく
  - ② ネットワーク拡大のため、積極的な普及啓発活動により、ACT 以外のアウトリーチチームの入会促進を行い、新規会員の獲得を目指す  
⇒2021 年度に新規加入した会員数は、個人正会員 29 人、チーム正会員 8 チーム、法人正会員 3 チーム、個人会員（賛助会員）27 人、団体会員（団体賛助会員）2 チームであった
  - ③ 経営基盤強化のため、新規会員獲得の他に、積極的な研修会開催による増収を目指す  
⇒法人全体として取り組んだオープニングセレモニーの他、研修委員会が企画・運営を行った研修会も開催したが、全体的には目立った増収にはならなかった
  
2. 委員会活動
  - ① 政策・研究委員会
    - (ア)委員会規定の作成
    - (イ)委員会の組織化と方向性の確認
    - (ウ)会員への精神科在宅支援管理料に関する実態調査
    - (エ)政策研究委員会診療報酬小委員会を開催し、精神科在宅支援管理料へに変わるものを議論
    - (オ)調査結果と当団体の要望をまとめ、厚生労働省精神障害保健課に提出し意見交換委員会規定の作成
  - ② 広報委員会
    - (ア)委員会の組織化
    - (イ)委員会の開催
    - (ウ)ホームページの作成・更新
    - (エ)ニュースレターの発行（ホームページ上にて 1 回）
    - (オ)SNS 開設に向けての作業委員会規定の作成
  - ③ 研修委員会
    - (ア)研修委員の専任（アウトリーチネット研修委員会を組織した）  
⇒メンバー：吉田匡伸、安保寛明、足立千啓、鴨藤祐輔、野上俊子、須田竜太の 6 名が 2021 年 7 月 16 日の理事会にて承認された

(イ) 研修委員会の開催

- ⇒2021年3月4日(プレ)、2021年6月14日(プレ)
- ⇒2021年7月12日 第1回研修委員会開催
- ⇒2021年8月2日 訪問支援訪問看護部会との合同打合せ開催
- ⇒2021年8月23日 第2回研修委員会開催
- ⇒2021年9月24日 第3回研修委員会開催
- ⇒2021年10月22日 第4回研修委員会開催
- ⇒2021年10月27日 訪問支援訪問看護部会との合同打合せ開催
- ⇒2021年11月26日 第5回研修委員会開催
- ⇒2021年12月27日 第6回研修委員会開催
- ⇒2022年1月18日 第7回研修委員会開催
- ⇒2022年2月3日 第8回研修委員会開催

(ウ) 研修会の企画・運営

1. 2021年10月2日(ACT部会との共催):「ACTフィデリティ調査員オンライン研修」  
講師:浦林翼、吉田光爾、香取牧子、鷹子剛、五ノ坪洋孝  
研修参加者:全国のACTチームより26名が参加
2. 2021年10月30日(訪問支援・訪問看護部会との共催):「アウトリーチ実践者オンライン研修～アウトリーチにおける関係作りに大切な視点」  
講師:増子徳幸(一般社団法人てとて リンクよこはま訪問看護ステーション)  
進行係:須田竜太(一般社団法人Q-ACT Q-ACTくるめ)、鷹子剛(一般社団法人Q-ACT Q-ACT福岡)、白石泰三(一般社団法人Q-ACT Q-ACTやはた)、西内絵里沙(国立精神・神経医療研究センター所沢市アウトリーチ支援チーム)、野々上武司(株式会社こころのこころの訪問看護ステーション)、香取牧子(医療法人社団創光会 つばさクリニック ACT-Aile)、浦林翼(メンタルヘルス診療所しほふぁーれ)、鴨藤祐輔(株式会社ぼっけ訪問看護ステーション不動平)、遠嶋哲吏(医療法人小憩会 ACT-ひふみ)、金井浩一(一般社団法人ライフラボ 相談支援事業所しほふぁーれ)  
研修参加者:会員・非会員含め全部で75名が参加
3. 2022年1月22日:オンライン研修「ヤングケアラーについて知る～家庭全体を地域で支えるためには」  
第1部:講演「ヤングケアラーの現状と課題」  
講師:横山恵子(横浜創英大学看護学部精神看護学 教授)、坂本拓(こどもぴあ 代表)、小林鮎奈(こどもぴあ 副代表)  
第2部:シンポジウム「地域での支援を考える～家庭全体を地域で支えるためには」  
登壇者:第1部登壇者3名、朝比奈ミカ(中核地域生活支援センターがじゅまるセンター長)、遠藤康弘(東京都あきる野私立南秋留小学校 教員)

研修参加者：会員・非会員含め全部で 120 名が参加

(エ) 研修講師の紹介派遣

⇒当法人のホームページから、鹿児島県のひきこもり支援に関する研修の講師紹介依頼があり、理事の谷口仁史を紹介した

### 3. 部会活動

#### ① 訪問支援・訪問看護部会

(ア) 部会規定の作成

⇒原案は作成したが、コアメンバーとの会議を定例化させることができず、完成には至らず

(イ) 部会の組織化

⇒この部会の方向性や一歩目に何をすべきかが明確にならず、結果的にコアメンバー選定で迷いが生じ、組織化する方向に進むことができなかった

(ウ) 部会顧問とコアメンバーによる打ち合わせ (zoom による) = 定例会と研修前の確認

⇒(ア) と (イ) の状況下において、打ち合わせをすることはできなかった

(エ) 訪問支援における関係構築に関する研修

(オ) 精神科訪問看護における精神科医との連携に関する研修

⇒(ア) ~ (ウ) により、(エ) と (オ) の積極的な企画はできなかった

(カ) 研修委員との合同による研修

⇒「関係づくりについて」の企画と研修講師を実施した。全国の選りすぐりの訪問支援実践者がファシリテーターを果たし、活発な意見をいただきながら研修全体を運営することができた。講師資料にもたくさんのご意見をいただき深めることができた

#### ② 訪問医療部会 (病院型・診療所型)

(ア) 部会規定の作成

(イ) 会員との交流(オンラインで会員と交流し、委員会に求めることを意見交換する)

(ウ) お顔合わせミーティングを 2 回 (9 月、1 月) 行った

(エ) 訪問医療部会ミーティングの開催(会員との交流と並行して、コアメンバーと部会のミッションを検討)

⇒コアメンバーの選出を理事で行い、来年度に向けて打診をおこなっている

(オ) 訪問医療部会の立ち上げ、チーム内相談 2ヶ所に行った

#### ③ 子ども・若者支援部会

(ア) 部会規定の作成

(イ) 部会の組織化

#### ④ 地域づくり部会

(ア) 部会員集め

⇒部会としての公式な活動ができず部会員集めに関する活動はできなかった

(イ) コアメンバーによる定期的なオンライン会議の開催

⇒地域づくり部会運営に関する、公式なオンライン会議は未開催

(ウ) 部会員集めと共に今後検証していくにあたっての全国の実践ケースを集める

⇒上記活動が難しく、検証の段階には至っていない

(エ) 部会主催のイベント（研修）を1回開催

⇒今年度は開催出来ていない。来年度には研修委員会との共同開催での研修やオンライン学習会を開催予定

⑤ ACT 部会

(ア) ACT の実践及び普及啓発活動

(イ) ACT に関する研修機会の創出

(ウ) ACT に関する情報交換、相互交流の機会創出

(エ) フィデリティ調査の計画・実施

(オ) 認定制度の準備

(カ) ACT チーム立ち上げ支援

(キ) ACT に関する研究活動及び研究活動への協力

(ク) 他部会及び員会との協力・連携

(ケ) その他、当部会の目的を達成しうるために必要な活動、部会の活動として部長及びコアメンバーが認めた事項

4. 法人運営

① オープニングセレモニーの開催

(ア) 日時：2021年5月29日（土） 10時00分～16時00分

(イ) 記念講演：テーマ：「生きづらさを抱えた人の暮らしに寄り添うために」

演者：村木厚子（元厚生労働事務次官・津田塾大学客員教授）

(ウ) シンポジウム：テーマ「アウトリーチの未来像について考える」

登壇者：三家英明（三家クリニック）、吉川隆博（東海大学・日本精神科看護協会）、吉田昌司（厚生労働省コロナウイルス対策推進本部企画官）、谷口仁史（NPO スチューデント・サポート・フェイス）、岡崎公彦（岡崎クリニック）

(エ) 部会長によるセッション

② 定時社員総会の開催

(ア) 日時：2021年5月29日（土） 16時15分～17時00分

(イ) 会場：東洋大学 赤羽台キャンパス WELLB HUB-2 教室

(ウ) 内容：2020年度事業報告

2020年度計算書類の承認

2021年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）の承認

③ 理事会の開催

(ア) 2021年4月5日（水）19時30分～20時45分

- (イ)2021年4月28日(水)19時~19時45分
- (ウ)2021年7月5日(月)19時~21時10分
- (エ)2021年8月17日(火)19時~21時15分
- (オ)2021年9月13日(月)19時~21時10分
- (カ)2021年10月12日(火)19時~20時50分
- (キ)2021年11月15日(月)19時~21時
- (ク)2021年12月14日(火)19時~21時
- (ケ)2022年1月17日(月)19時~21時
- (コ)2022年2月15日(火)19時~21時20分
- (サ)2022年3月14日(月)19時~20時40分
- ④ 共同代表会議
  - (ア)2021年8月28日(土)16時30分~18時
- ⑤ 各部会や各委員会の意見の取りまとめや調整
- ⑥ 委員会および部会の開催
- ⑦ 事務局業務(委託含む)
  - (ア)会員の入退会に伴う業務
  - (イ)会費の請求業務
  - (ウ)設立総会の開催に伴う業務
  - (エ)経理業務
  - (オ)法人税等の税務関連業務
  - (カ)現預金等の日常の管理業務
  - (キ)会員や外部関係機関などからの相談対応業務

## 2021 年度 計算書類

### 貸借対照表

2022 年 3 月 31 日

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	1,874,728
未収会費	278,000
立替金	0
仮払金	0
流動資産合計	2,152,728
2. 固定資産	
ソフトウェア	1,013,959
固定資産合計	1,013,959
資産合計	3,166,687
II 負債の部	
1. 流動負債	
仮受金	0
預り金	0
流動負債合計	0
2. 固定負債	
長期未払金	1,122,300
固定負債合計	1,122,300
負債合計	1,122,300
III 正味財産の部	
一般正味財産	2,044,387
正味財産合計	2,044,387
負債及び正味財産合計	3,166,687

## 2021年度正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
經常収益	
1. 受取会費	
個人正会員	644,000
チーム正会員受取会費	1,140,000
法人正会員受取会費	60,000
個人賛助会員受取会費	70,000
団体賛助会員受取会費	20,000
受取会費計	1,934,000
2. 事業収益	
部会活動収益	390,000
委員会活動収益	362,413
セレモニー参加費等収益	408,988
事業収益計	1,161,401
3. 受取寄付金	
受取寄付金	960,909
4. 雑収益	
受取利息	2
經常収益計	4,056,312
經常費用	
1. 事業費	
旅費交通費	91,460
通信運搬費	12,830
消耗品費	1,480
印刷製本費	119,950
諸謝金	430,770
委託費	55,618
郵送費	39,876
事業費計	751,984
2. 管理費	0
通信運搬費	56,276
減価償却費	227,623
消耗品費	41,413
印刷製本費	115,113
諸謝金	269,890
租税公課	450
郵送費	78,328
委託費	242,000
HP維持費	79,200
雑費	149,648
管理費計	1,259,941
經常費用計	2,011,925
評価損益等調整前当期經常増減額	2,044,387
当期經常増減額	2,044,387
經常外収益	0
經常外費用	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,044,387
当期一般正味財産増減額	2,044,387
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	2,044,387
II 指定正味財産増減の部	0
III 基金増減の部	0
IV 正味財産期末残高	2,044,387

# 監査報告書

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会の2021年度における事業及び会計の監査について以下の通り報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会及びその他の重要な会議に出席し、必要に応じて理事からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。それらを踏まえ、当該事業年度に係る事業及び会計について検討しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査の結果

事業報告は法令、定款に従い正しく示しているものと認めます。

各理事の職務執行に関する不正行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類の監査の結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

2022年4月7日

監事 山口 亮

